

知 っ て 安 心

# ガスご利用 ガイド

メニュー

- 1 換気をお願い
- 2 ガス臭いときの対応
- 3 地震のときの対応 >>>
- 4 停電のときの対応 >>>
- 5 天ぷら油火災防止のためのお願い

ガスメーターの復帰方法はこちら >>>

## 1 換気をお願い ガス機器は新鮮な空気を求めています。



キッチンで

コンロや小型湯沸器のご使用の際には、必ず換気扇を回すか、窓を開けて換気してください。小型湯沸器は安全装置がついていても必ず換気しましょう。コンロや小型湯沸器が使用中に止まったら、点検修理をお申込みください。



お部屋で

ガストーブ・ガスファンヒーターをお使いになるときには1時間に1～2回、1～2分程度換気を行い、新鮮な空気に入れ替えましょう。ガストーブ・ガスファンヒーターの付近には、スプレー缶や衣類など燃えやすい物は置かないでください。

**⚠️ ご注意** ガス機器が劣化していたり、換気が不十分な状態でガスが燃焼すると、不完全な燃焼となり、同時に**有毒な一酸化炭素(CO)**が発生し中毒となる恐れがあります。

## 2 ガス臭いときの対応

火気厳禁



絶対に火気を近づけないでください。タバコもすぐに消してください。

着火源に触れない



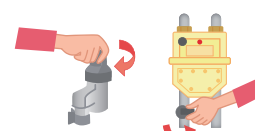
引火する恐れがあるので、換気扇や電灯などのスイッチには絶対に手を触れないでください。

窓を開ける



窓や戸を大きく開けて、部屋の空気を入れ替えてください。

ガス栓を閉める



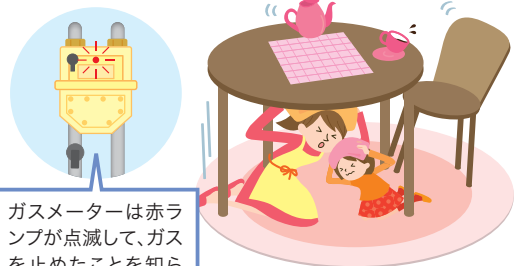
ガス栓、メーターガス栓を閉めます。

### 3 地震のときの対応

#### 地震が起きたら

まずは**身の安全を確保**してください

※震度5程度以上の地震が発生するとガスメーターは自動でガスを止めます。



ガスメーターは赤ランプが点滅して、ガスを止めたことを知らせます。

#### 揺れがおさまったら

あわてずに**ガスの火を止めてください**

(使用中のガス機器の器具栓、ガス栓を開めてください)



主に外にあるガスメーターのガス栓は閉めないでください。

ガス臭いと感じたら、

**2 ガス臭いときの対応**

をご覧ください

もしもガスが出ない時には、

**ガスメーターの復旧方法はこちら**

東京ガスのガスメーターは以下のような場合に自動でガスを止めます。

震度5程度以上の地震が発生した場合

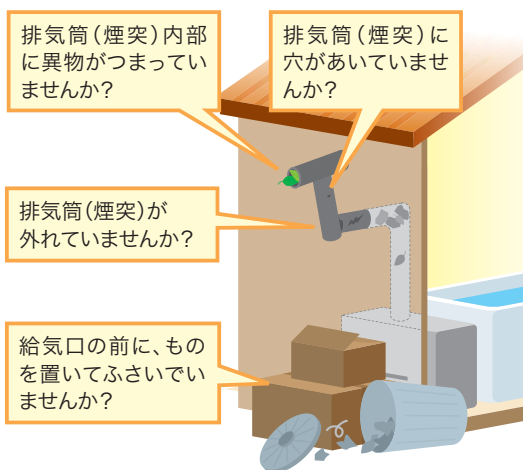
ゴム管の外れなどにより、一定時間に極めて多くのガスが使用された場合

ガス機器の消し忘れなど、異常に長時間ガスが使用され続けた場合

ガス使用時に流れるガスの圧力が異常に低下した場合

#### 地震がおさまってから確認してください

##### 給排気設備



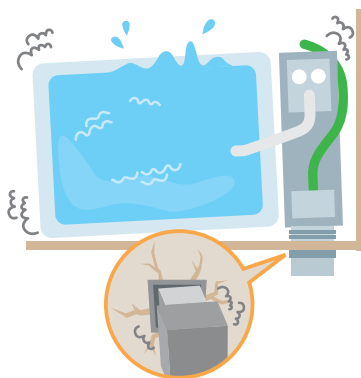
排気筒(煙突)内部に異物がつまっていますか?

排気筒(煙突)に穴があいていませんか?

排気筒(煙突)が外れていませんか?

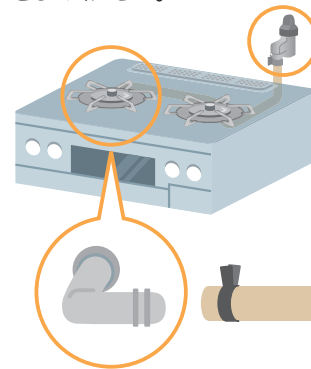
給気口の前に、ものを置いてふさいでいませんか?

外れ・凹み・ゆがみがないか**可能な範囲で見**て確認をしてください。壁との間にすき間はできていませんか?



##### ガス接続具の正しい接続

接続に**外れがないか見て確認**をしてください。



##### 一戸建ての場合

ガスメーターの設置場所を確認しておきましょう



屋外・玄関付近の外壁に設置

##### マンション・アパートなどの集合住宅の場合



玄関脇や共用廊下のメーターボックス内に設置



外に複数並列設置

# 4 停電のときの対応

停電時に使用できるものとできないものがありますので、ご家庭のガス機器を確認してください。

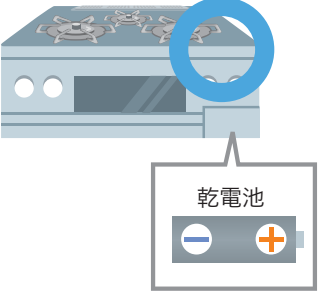
停電時は換気扇は使えません。  
窓を開けて十分に換気をしてください。



## 停電中に使えるガス機器

**乾電池式のもの**

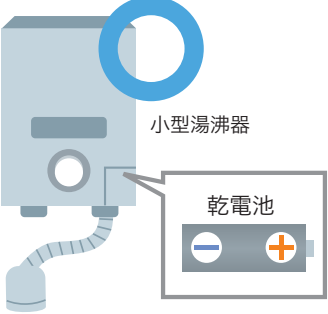
ほとんどが乾電池式タイプです。



乾電池

---

乾電池式の小型湯沸かし器は使えますが、長時間、使用しないでください。



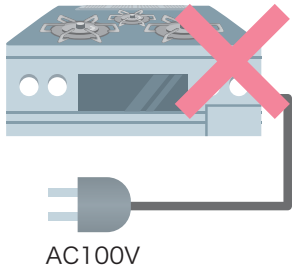
小型湯沸かし器

乾電池

## 停電中に使えないガス機器

**100V 電源を使うもの**

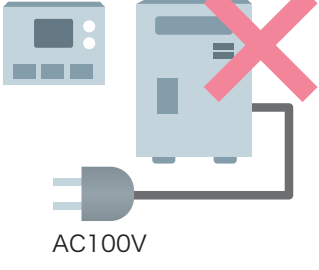
一部の100V電源を使うタイプは使用できません。(ただし、バックアップ用電池ケースのあるものは使用できます)



AC100V

---

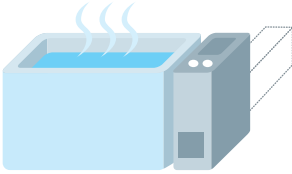
屋外・屋内設置の100V電源を使う給湯器、もしくはリモコン式の給湯器は使用できません。



AC100V

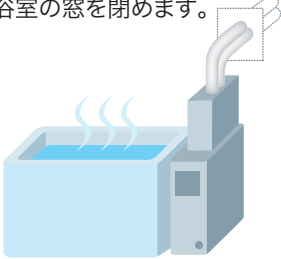
## 以下の風呂釜は停電のときでも使えますが、使用の際はご注意ください

給気を屋外から取り入れ、排気も屋外に排出するタイプ(BF風呂釜)。使用の際は浴室の窓を閉めます。



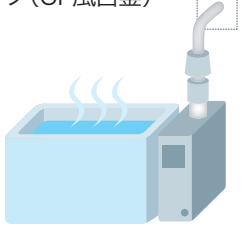
※ただし、リモコンがあるタイプは使えません。

給気を屋外から取り入れ、排気を屋外に排気筒で排出するタイプ(BFDP風呂釜)。使用の際は浴室の窓を閉めます。



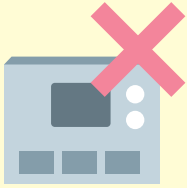
※ただし、リモコンがあるタイプは使えません。

浴室内の空気を取り込み、排ガスを排気筒で屋外に排出するタイプ(CF風呂釜)



※停電時なので換気扇は使ませんが、(使える場合でも)風呂釜を使用の際は台所や脱衣所などの換気扇を使用しないでください。

リモコンのあるガス給湯器、ガスファンヒーター等は100V電源を使用しているため使えません。



# 5 天ぷら油火災防止のためのお願い

天ぷら油火災防止のためにガスコンロの安全対策を！！センサーつきバーナーを使用しましょう。



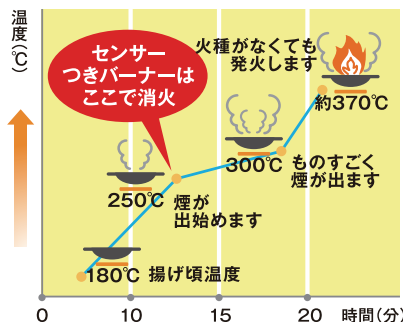
揚げ物をする際は、必ず センサー付きのバーナー を使いましょう。

## センサー付きのバーナーなら安心！！

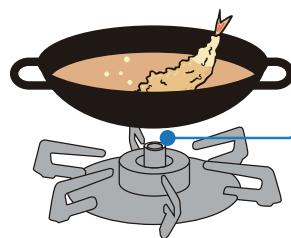
天ぷら油火災はどのようにおこるのか？

天ぷら油は、その温度が約370℃になれば、火種がなくても発火して燃焼を始めます。

※天ぷら油の種類などにより発火する温度に差があります。



### 調理油(天ぷら油)過熱防止装置



センサーが鍋底の異常な過熱を感知。油の温度が上がりすぎる前に自動で消火します。

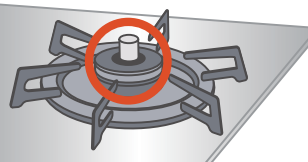
センサー付きのバーナーでも、揚げ物中にはその場を離れないようお願い致します。

2008年10月以降に製造されたガスコンロ(Siセンサーコンロ)には、全てのバーナーに「調理油(天ぷら油)加熱防止装置」「立ち消え安全装置」「消し忘れ消火機能」のセンサーを装備しています。



安全機能

### 調理油(天ぷら油)過熱防止装置



センサーが鍋底の温度を感知し、約250℃になると自動的に消火して油の発火を防ぎます。

安全機能

### 立ち消え安全装置



加熱中 火が消えるとガスを遮断

煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えた時、自動的にガスを止めます。

安全機能

### コンロ消し忘れ消火機能 グリル消し忘れ消火機能



加熱中 一定時間で自動消火

消し忘れても、点火後一定時間が経過した時点で自動消火します。



# 再びガスを使う時は

ガスメーターの安全機能が作動してガスがストップした時は、お客さま自身の簡単な操作で、またガスをお使いいただけます。

**復帰ボタン**  
ガスの復帰の際に  
使います。

**表示ランプ**  
ガスメーターの安全機能が働くと、表示ランプが赤く点滅します。

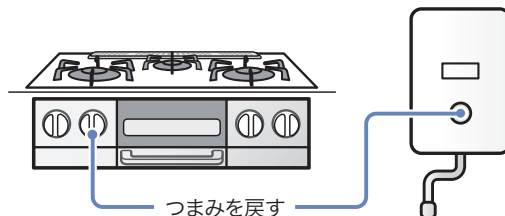


メーターガス栓

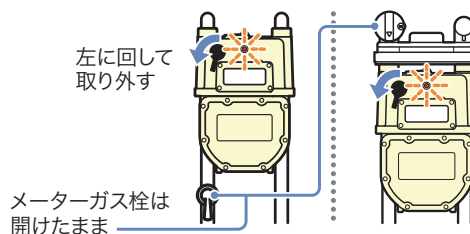
## ガス臭い時は、火気厳禁！

以下の手順を行わず、各都市ガス事業者（下記）へご連絡ください。

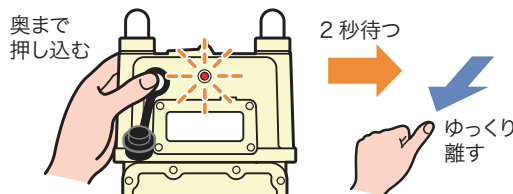
- 1 すべての**ガス機器を止めます**。  
屋外の機器も忘れずに止めてください。



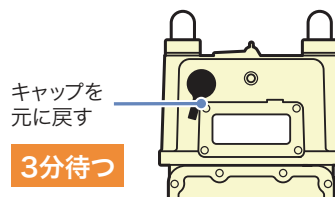
- 2 復帰ボタンの**キャップを外します**。



- 3 **復帰ボタンを**しっかり奥まで押し込み、ゆっくり手を離します。  
赤ランプが点灯した後、また点滅が始まります。



- 4 ガスを使わないで**3分待ちます**。  
(この間にガス漏れがないか確認しています)  
点滅が消えていたらガスが使えるようになります。



\*3分経過後も、赤ランプが点滅し、ガスが止まったままの時は、ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか、再度確認してください。止め忘れがあった場合は、止めていただき、もう一度上記

の復帰手順に従って操作してください。ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがなかった場合は、ガス漏れが考えられますので、各都市ガス事業者（下記）へご連絡ください。

### 各都市ガス事業者への連絡先

<b>東京ガス株式会社</b>	お客さまセンター:0570-002211 PHS・IP電話の場合:03-3344-9100	ガス漏れ通報専用電話:0570-002299 PHS・IP電話の場合:03-6735-8899
<b>昭島ガス株式会社</b>	通常のお問合せ:042-546-8811	ガス漏れなどの緊急対応:042-546-1111
<b>青梅ガス株式会社</b>	通常のお問合せ:0428-31-8111	ガス漏れなどの緊急通報:0428-31-0909
<b>武陽ガス株式会社</b>	本社:042-551-1621	武蔵村山営業所:042-562-0741